

先週のマーケット動向(12月5日～12月9日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,297.0	1,325.8	1,289.7	1,301.3	+1.4
JPY/KRW	9.6367	9.6719	9.5383	9.5663	▲0.055
KOSPI	2,442.17	2,442.22	2,357.20	2,389.04	▲45.29

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。5日のドル/ウォンは1,297.0でオープン。前日に上海でのコロナ検査の一部撤廃が発表されていたことから、人民元高が進行するとドル/ウォンも合わせて上値の重い展開となった。加えてドルロングポジションのロスカットと思われるフローもあり、ドル/ウォンは週安値1,289.7まで下落した。しかし海外時間に良好な米経済指標等を背景に米金利が反発すると6日のドル/ウォンは一転して上昇。7日には市場で期待のあった中国のゼロコロナ政策緩和が想定内の範囲内だったことによる失望売りが入り、ドル/ウォンは外国人投資家による韓国株売りも入り週高値1,325.8まで上昇した。8日以降は市場を動かす材料に乏しい中、株式・債券・為替がバラバラに動く展開となり、ドル/ウォンは市場のドル売りに押され下落した。結局、先週対比1.4ウォン上昇した1,301.3ウォンにてクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは下落する展開を予想する。FOMC(12/15)ではFOMC参加者によるFF金利見通しが発表される予定であり、一部に期待感のある2024年以降の利下げを期待して、一層のドルロングポジションの解消圧力が働くのではなかろうか。実需面や外国人投資家による韓国株式売買を考えるとウォン買いは強くないものの、それでもドル売り圧力に押され徐々に下落していこう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1280 ~ 1310	9.30 ~ 9.55	136.0 ~ 138.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 13日(火) 米 11月 CPI
- 14日(水) 日 10月 鉱工業指数 確報値
- 日 10月 機械受注 確定値
- 韓 11月 失業率
- 米 FOMC 政策金利発表
- 日 4Q 日銀短観
- 15日(木) 米 12月 NY連銀製造業指数
- 米 11月 小売売上高
- 米 11月 鉱工業生産
- 日 11月 貿易統計
- 中 11月 鉱工業生産
- 中 11月 小売売上高
- 欧 ECB 政策金利発表
- 16日(金) 米 12月 製造業PMI 速報値
- 米 12月 サービス業PMI 速報値
- 欧 12月 サービス業PMI 速報値
- 欧 12月 製造業PMI 速報値
- 欧 11月 CPI 確報値

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。